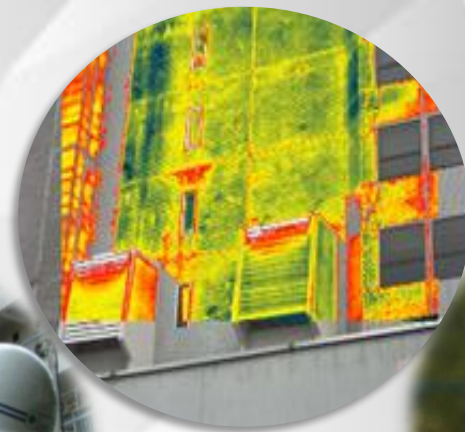
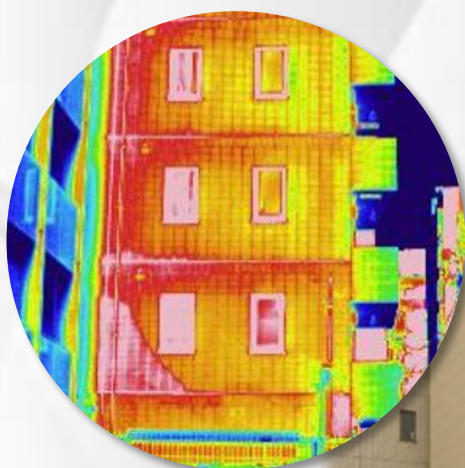


第5回 定期報告制度における 赤外線サーモグラフィによる外壁調査セミナー



開催趣旨

2022年4月の建築基準法第12条の告示改正により、「赤外線装置によるタイル、モルタル等の外壁調査の方法」が明確化され、また、国土交通省から「赤外線調査(無人航空機による赤外線調査を含む)による外壁調査ガイドライン」が発行されました。

今後ますます需要が高まるものと予想される赤外線装置（赤外線サーモグラフィ）による外壁調査。

本セミナーでは、当協会・代表理事を務める阪上隆英が、建築基準法の改正点や注意点、外壁調査ガイドラインの主旨等をわかりやすく解説いたします。

また、赤外線測定の基礎や外壁診断の留意点、ドローンを活用した外壁調査の実例も学ぶことができます。

この機会に是非、赤外線装置（赤外線サーモグラフィ）による外壁調査のために必要な知識を身につけましょう。

日時・
場所

2025年

10/27月 午前10時～

きゅりあん (品川区立総合区民会館) 第1特別講習室

後援

- ・ (一財) 日本建築防災協会
- ・ (公社) ロングライフビル推進協会
- ・ (一社) 日本非破壊検査協会
- ・ (一社) 日本建築ドローン協会

※ 順不同、敬称略

主催：一般社団法人日本赤外線サーモグラフィ協会

定期報告制度における赤外線サーモグラフィによる外壁調査セミナー 概要

日時 2025年 **10月27日**(月) 10時～17時

会場 きゅりあん 4階 第1特別講習室

- 住所
〒140-0011 品川区東大井5-18-1
- 交通
JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線
「大井町」駅より徒歩約5分

定員 対面受講：20名、オンライン受講：80名
(ZOOMによるオンライン受講が可能です)



プログラム	主な内容	時間	講師
外壁調査ガイドラインについて	・ガイドラインの主旨 ・全体の解説	10:00 ～ 11:45	神戸大学 (当協会理事長) 教授 阪上隆英 *1
赤外線計測の基礎	・熱の伝わり方 (放射、伝導、対流) ・赤外線による温度測定の方法 ・測定の注意事項	13:00 ～ 14:30	防衛大学校 (当協会理事) 教授 小笠原永久
赤外線による外壁診断の留意点	・調査時期、時刻 (日射量との関係) ・天候、風、測定角度による影響 ・仕上げ材の材質、形状による影響 ・報告書事例	14:45 ～ 16:00	(株) 東設土木コンサルタント 事業推進部 新技術開発グループマネージャー 作中隆之 *2 (当協会インストラクター)
調査の実例について	ドローンを活用した外壁調査の実例	16:10 ～ 17:00	(株) コンステック 技術本部 構造ソリューション部 技術企画室長 佐藤大輔

*1 : 国土交通省「赤外線装置を搭載したドローン等による外壁調査手法に係る体制整備検討委員会」委員

*2 : 国土交通省「赤外線装置を搭載したドローン等による外壁調査ガイドライン作成WG」委員

※ プログラムの内容や時間等に変更になる場合がございます。予めご了承ください。

受講前の準備

受講前に、国土交通省のホームページにアクセスし、「赤外線調査(無人航空機による赤外線調査を含む)による外壁調査ガイドライン」をご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/jutakuken_tiku/build/jutakukentiku_house_tk_000161.html



受講料 ※

※テキスト代と消費税10%を含む

会 員	¥17,400.-
非 会 員	¥24,000.-
後 援 会 員	¥19,600.-

- ・ご後援の会員様は「後援会員料金」を適用します。
- ・お申し込み後、請求書をお送りいたします。
お支払い方法は「銀行振り込み」です。

お申し込み・お問い合わせはこちら

お申し込みは当協会ホームページにて承ります

ita 一般社団法人
日本赤外線サーモグラフィ協会
Japan Infrared Thermography Association

<https://www.thermography.or.jp>